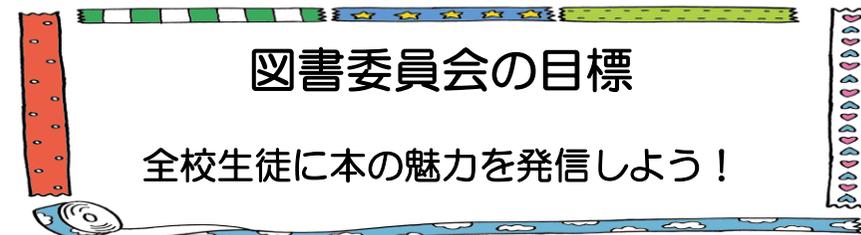




図書館だより

七尾中学校図書館
令和5年 5月号



おすすめ本の紹介！

前期図書委員会の目標は、「全校生徒に本の魅力を発信しよう！」です。図書委員がおすすめポイントを書いて、本と一緒に展示してあります。ぜひ見に来てください。



図書委員のおすすめ本を 毎月図書館だよりで紹介します！



図書委員長のおすすめ本はこれだ！

『ディズニー ツイステッドテール ゆがめられた世界

パート・オブ・ユア・ワールド』上下巻

リズ・プラスウェル／著 池本尚美／訳

★おすすめポイント

ディズニーのリトル・マーメイドを知っていますか？大体ハッピーエンドで終わります。しかし、この本はバッドエンドから始まります。自由も声もお父さんも奪われたアリエルが魔女と戦い奪われた全てを取り戻す物語です。



『走れメロス』 太宰治／著

★おすすめポイント

メロスは激怒した。で始まるこの物語は、誰しも一度は聞いたことのあるお話だと思います。2年生の国語の教科書にも載っていますが、教科書にしては長い、本にしては短いぐらいの長さです。ぜひ、仲の良い友だちを思い浮かべながら読んでみてください。

3年2組 田村 芹奈

『永遠のゼロ』 百田尚樹／著

★おすすめポイント

太平洋戦争の最中、アメリカ軍から恐れられた悪魔のような天才パイロットがいた。しかし彼は、日本軍では臆病者と言われていた。家族を守る、そして娘に会うまでは死ねない、そんな彼がなぜ自ら命を落としたのか。真実を知る時、涙が止まりませんでした。

3年2組 高橋 空汰

『ラーゲリより愛を込めて』 辺見じゅん／原作

★おすすめポイント

映画にもなった戦争のお話です。読んでいて心が痛くなるシーンもたくさん出てくるけど、夫の帰りを待って希望を持ち続けている妻の姿勢にとっても感動します。全て実話なので興味のある方は読んでみてください。

2年4組 堂ヶ平 琉夏

『君色パレット いつも側にいるあの人』 高田由紀子・他／著

★おすすめポイント

みなさんは人生の選択を自分でしていますか？誰かに決められたりしていませんか？このお話は、様々な価値観のなかでの物語を描いているお話です。男の子だからあんなことをする、〇〇同志だけどこんな事をする、幸せは人それぞれです。今のようなお話しが4種類も載っていて飽きなくてとても面白いです。ぜひ読んでみてください！

1年4組 宮崎 理羽

『秘密のスイーツ』 林真理子／著

★おすすめポイント

現代ではありえないことがおきる、心温まる感動作です！昭和19年の日本に生きている少女を助ける、ワクワクドキドキの物語です。

2年2組 因幡 心春

『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』

汐見夏衛／著

★おすすめポイント

茜はマスクを外すことができない女の子で、青磁は夕焼けを毎日描いている男の子です。二人のぎくしゃくした恋愛の物語です。

2年3組 守山 由愛

第69回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書を紹介

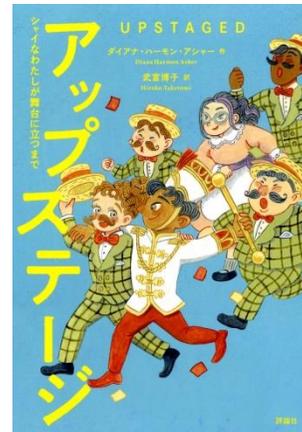


『スクラッチ』 歌代 朝／作

小4で水害による被災のため、母の実家に越してきた千暁。やがて、見ないで過ごしてきた自分の心に気づく。近くに住む同級生でバレエ部部長の鈴音とともに、中学校最後の夏を乗り越えていく。

コロナ禍は、バレエ部の「総体」も美術部の「市郡審査会」も奪っていく。制限された生活の中で、傷つき、悩み、迷い、怒り、悔やみながら、それでも前に進む様子が、千暁と鈴音の交互の視点から描かれる。嘘のない大人たちとも関わりながら、それぞれの未来に踏み出していく。

引用：全国学校図書館協議会：学校図書館速報版

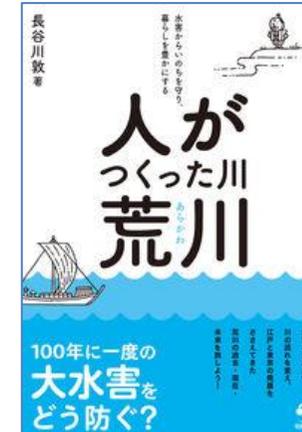


『アップステージ：シャイなわたしが舞台に立つまで』

ダイアナ・ハーモン・アシャー／作 武富博子／訳

シャイなシーラを家族が心配しているのは、シーラも自覚している。だから「シャイなシーラ」の殻を破ろうと、思い切って学校ミュージカルのオーディションを受けた。

貼り出された出演者リストにはなんとシーラの名前があったが、それはシャイなシーラには耐えがたい「おじさん役」。からかわれ落ち込むシーラに追い打ちをかけるように、ミュージカルを巡るトラブルが次々と発生。トラブル解決と恋、そしてミュージカル成功のためにシーラは仲間たちと奔走する。



『人がつくった川・荒川：水害から

いのちを守り、暮らしを豊かにする』

長谷川 敦／著

東京湾に注ぐ荒川は、およそ400年前と100年前の2度にわたり、人の力で流れが変えられた歴史を持つ。

その目的は「利水」と「治水」。先人たちは、川の恵みを生かして流域を著しく発展させる一方で、洪水を防ぐための努力も重ねてきた。

そして今、地球温暖化で豪雨災害が相次ぐ中、私たちはどのように川と付き合い、暮らしと命を守っていけばいいのだろうか。江戸から現代へ。川と人の深い関わりを考える。